

全木連時報

10月25日(土曜日)
(第547号) 毎月25日発行)
平成15年(2003年)

発行所
社団法人 **全国木材組合連合会**
代表者 後藤 隆一
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215
URL <http://www.zenmoku.jp>

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

定価 年500円

『全木連時報』の購読料は年会費に含まれています。

全木連創立50周年 第38回全国木材産業振興大会

改革・創造・挑戦のさらなる継続 大阪国際会議場で盛況に開催

全木連・全木協連が主催する全木連創立五十周年第三十八回全国木材産業振興大会が、全木連近畿支部・大阪府木連の担当により、十月二十一日に大阪市の大阪国際会議場で開催された。第一部の大会議事では別掲の宣言を満場一致で決議。引き続き第二部の記念講演、第三部の表彰式を行い、この後、懇親会に移り、盛況のうちに閉幕した(詳報次号)。

宣言決議

- 1、木材産業の構造改革を推進し、環境・健康にやさしい産業を目指そう
- 2、経済波及効果が大きく、木材産業の活性化に資する住宅減税を拡充しよう
- 3、安心と信頼のマークJAS製材品の普及推進に努めよう
- 4、公共施設等への木材利用等、「地財措置」の活用による需要拡大を促進しよう
- 5、地球環境に貢献する森林の育成・木材利用の推進に努めよう
- 6、WTO林産物関税を堅持し、違法伐採材の輸入を拒否しよう

大会会長挨拶

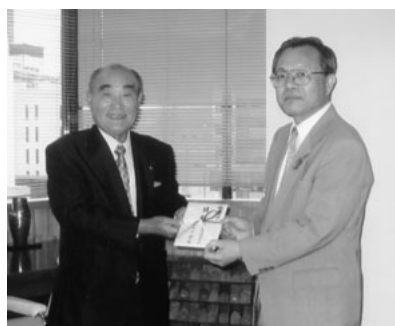
昭和二十九年に全国木材組合連合会が創立されて五十周年の今年、本日ここに第三十八回全国木材産業振興大会を開催するにあたり、

(社)全国木材組合連合会
会長 久我 一郎

一言ご挨拶を申し上げます。この記念すべき大会に、ご多忙のなか、私の地元でもありますご大阪に、農林水産大臣、国土交

木材フェアの売上を緑の募金に寄付

全国木材協同組合連合会(庄司橙太郎会長)では、今年六月に大阪ドームとさいたまスーパーアリーナで開催した「明日のくらしと環境・木材フェア」で行ったチャリティーオークションの売上金など合計百四十八万円余を、国土緑化推進機構の「緑の募金」に寄付することとしていたが、九月二十四日に庄司会長から同機構の大島常務理事に目録が贈呈された。イベントに関わる募金額としては過去最高という。贈呈を受けた同機構の大島常務は、返礼として次のように意義を語った。



庄司全木協連会長から寄付金目録を贈呈

「多額の寄付をいただいた。イベント募金の中では最高額。一ケタ違う。イベント募金は、寄付する人に意義を説明・啓発してのものなので、うれしい。地球温暖化防止と木材利用の関わりが参加者に理解されてきたものと考えたい。今年には景気が悪く、募金状況は厳しいが、京都議定書の発動の見込みもあり、気分は上向いている。」

通大臣、林野庁長官、大阪府知事、大阪市長、大阪商工会議所会頭をはじめ、多数のご来賓のご臨席と、全国各地から多数の会員、友好団体の皆様をお迎えして、かくも盛大に開催できますことを、心より光栄に存じ、厚く御礼申し上げます。

一面	全国木材産業振興大会を大阪で開催 宣言を決議 木材フェアの売上寄付
二面	振興大会での栄光の受賞者 百七十三名
三面	木材需給見通しを上方修正 シンボルマーク発表
四面	国産材展示会 景況調査 おしらせ

全木連生命共済

割安な掛金で大きな保障。
 従業員の福利厚生に最適です。
 (経営者も入れます)
 不安定の時代でも安全・安心の
 制度です。
 木材業のために最適に設計され
 た保険です。

全国木材協同組合連合会

ここ大阪国際会議場は、古くから国際交流、芸術文化、通商産業の町として発展して来た大都市、大阪の中心地に位置しています。大阪はまた、文化・商業の中心として、新しい価値の創造、国際化の一層の進展、民間活力による新規産業開発など、旺盛な活力に満ちた都市であります。また人々は新規性を好む一方で歴史と伝統を重んじ、国際化に勇敢で、粘り強くバイタリティに溢れる人情もまた大阪の特徴であります。これらは正に木材業界が悲願としている木の文化の復活、木材産業の振興にとつて欠かすことの出来ない精神的要素であり、この大阪の地は木材産業復興の誓いを発信するにふさわしい場所と言えましょう。

さて、昨年の名古屋大会では、木材新時代の到来を願って、築け木材新時代、改革・創造・挑戦」

をスローガンとして掲げ、大会宣言では、「木材産業構造改革プログラムの推進、木材利用の推進と地球温暖化防止、乾燥材・JAS製材品の安定供給、環境・健康への貢献、環境配慮型産業への再生、違法伐採材輸入拒否とWTO林産物関税の堅持」の当面する重要課題について、行政のご支援を得つつ業界の自助努力を誓い合いました。

しかし、この一年間、我が国の経済は、長引くデフレ不況のもとで相変わらず深刻な状況が続いております。直近の経済報告によると、本年度の実質経済成長は当初予想をやや上回り、対前年比プラス〇・一〇程度になるという予想もありますが、失業率は依然として高く、円高は更に進む気配もあります。また株価はやや持ち直してきたとはいえ、中東をめぐる世

界情勢はアメリカの経済に影を落としていたなど不安要因も多く、実感としては、まだまだ我が国経済は回復基調にはほど遠いと言わざるを得ません。

中でも、駆け込みによる新築住宅着工数の増加はみられるものの、依然として市民の住宅投資への意欲は落ち込んだままで、木材需要も低迷を続けています。これが木材産業のみならず、地域の森林・林業にも大きな重しになっております。特に国産材生産は自給率を十八%にまで低下させ、このまま推移すれば国内林業は立ち直れないほどのダメージを受けることになりそうです。もちろん木材流通業者も同様に、取引量の低下と価格の下落の両面で苦しんでおりますが、木材新時代に向けて自己改革の意欲を失ったわけではありませぬ。木材が再び脚光を浴びるときが来ることを信じ、必死に努力しております。

ご存知のとおり、去る六月には、ここ大阪と埼玉で木材業界あげての大イベント「木材フェア」を開催しました。これは各方面からの絶大なご支援、ご協力の賜物であります。くらしと環境に優しい木材というイメージの普及宣伝と木材利用の推進につとめて、またとない機会となりました。このような木材利用推進活動の継続がやがて大きな成果につながるものと確信しております。

それは循環型資源である木材が、

地球温暖化防止の切り札として、京都議定書の目標達成のために極めて重要な役割を果たすということを一般に認識していただき、木材資源の再生産を通じた活発な林業経営と健全な森林育成が現実のものになると信じているからです。そのためには森林・林業基本法においても位置づけられているように木材の利用推進の担い手として、また地域経済の牽引者としての木材産業の活性化が喫緊の課題であります。

また、木材の利用推進にとつて重要な点は、住宅部材として品質性能の優れた、施工性の高い木材製品を安定的に供給する体制整備であります。循環型社会のなかで木材利用の必要性が認識され、消費者の信頼を勝ち取るために、木材業界が取組まなければならない課題は、多々あります。環境、健康に優しい自然素材であるという木材固有の特性のみに準拠することなく、乾燥材始め、新しいJAS制度のもとで規格品質の明確な木材の安定供給に努めることも、木材の多角的利用技術や優れた加工技術の開発が必要であります。

最後に、本大会の開催にあたり、準備万端整えお迎えいただいた、全木連近畿支部及び実行担当の大阪府木連の皆様のご尽力に厚く感謝申し上げます、私のご挨拶といたします。

最後に、冒頭にも申しましたとおり、今年には全木連創立五十年という大きな節目になりますので、記念事業といたしまして、木材産業のシンボルマークの発表を行います。また別途記念誌の発行も予定いたしました。

終わりになりましたが、本日、栄えある表彰を受賞される方々に、長年にわたるご精進とご労苦に対し深甚なる敬意を表しますとともに、心よりお祝い申し上げます。

さて、冒頭にも申しましたとおり、今年には全木連創立五十年という大きな節目になりますので、記念事業といたしまして、木材産業のシンボルマークの発表を行います。また別途記念誌の発行も予定いたしました。

栄えの受賞者

第三十八回全国木材産業振興大会の表彰式での栄えの受賞者は次のとおり(敬称略)。

全木連会長感謝状

- 秋田 武田英文 神奈川 小林光次郎 福井 山川龍雄 岐阜 伊藤勇 チップ 藤島直一 防府 角和憲 保存 西本孝一

前大会以降退任団体長表彰

全木協連会長感謝状
 秋田〓 武田英文 神奈川〓 小林光次郎 福井〓 山川龍雄 岐阜〓 伊藤勇 愛知〓 笠木和雄 岡山〓 岡信一 新東京〓 福田隆男 木場製材〓 大堀雅義

木材産業功労者表彰

農林水産大臣感謝状
 庄司橙太郎(東京都木連会長) 向河原辰郎(石川県木連会長) 安藤友一(愛知県木連副会長) 福井市木材林産協同組合 社団法人広島県木材組合連合会
林野庁長官感謝状
 宮城〓 渋谷正志 秋田〓 武田英文 群馬〓 大竹隆一郎 東京〓 河野義定 石川〓 山田義次 愛知〓

木材産業シンボルマークを披露



振興大会では、全木連が募集し、このほど決定した「木材産業シンボルマーク」(前月号既報)が披露され、入選者の表彰が行われた。入選者 王彦龍(オウ ゲンリユウ)さん

嶺木昌行 三重〓 勝田迪男 大阪 〓 小久保節夫 岡山〓 鈴鹿正志 広島〓 東遼 高知〓 大原儀郎 大分〓 宮崎正行 全市連〓 安部政昭
全木連会長表彰
 北海道〓 相田嗣郎、宮崎優二 青森〓 石塚達男 岩手〓 大粒来勝 男 宮城〓 島貫敏夫 秋田〓 袴田誠治、石木田誠一、長崎養治、平野井景一 茨城〓 龍崎義光 栃木 〓 宮利男 群馬〓 野口容平、青森 佳穂 埼玉〓 志水則行 千葉〓 田村秀男、菅谷昭 東京〓 名倉敬世、渡辺昭、早川淳、五十嵐義雄、大沼幸之助、長浦慎一、長谷川健治、相羽登 富山〓 島田勝由 石川〓 大橋義雄 長野〓 青木道一、細川忠國 岐阜〓 戸田清佐、柚村茂幸 静岡〓 佐藤潔、山口修、林敬、

岡山県立大学デザイン研究所 ビジュアルデザイン専攻一学年 **大賞受賞者喜びの言葉**
 今回、大賞を受賞し、大変嬉しい気持ちで一杯です。木材の利用推進と地球環境保全という募集の趣旨は、私のデザインの大きなコンセプトになりました。
 加工する木材のイメージを基本パターンにして、木材産業に関わる人々が心を一つに団結し、地球環境に留意しながら日々成長発展していくような業界のイメージを表現しました。ありがとうございました。

松山保久、森田益太郎 愛知〓 樫木善博、柴田鉞雄、吉田隆彦、服部伸一、児玉正光 三重〓 横尾芳郎、落合求 滋賀〓 三品裕通、村地良一、八木潤 京都〓 堀井甚逸 大阪〓 宇田靖彦、河田洋介、松尾悟、山川衛、寺崎英信 兵庫〓 友井正、松野正和 奈良〓 嶋田陽弘、佐野敏晃 和歌山〓 朝間喜久雄、雑賀久雄 鳥根〓 為永邦男 岡山〓 松本馨 広島〓 小城林勲、田丸直文、谷本繁樹 山口〓 黒川昇 徳島〓 中田耕治 香川〓 森重信 福岡〓 石井泰彦、杉岡武文 大分〓 阿南洋一 宮崎〓 東正登志 鹿児島〓 水流通大 沖縄〓 桃原用吉 全市連〓 上原昭一 ツーバ イフォー〓 津田潮 プレカット〓 川村武

木材需給見通しを上方修正

林野庁・需給対策中央協

林野庁は九月二十五日に木材需給対策中央協議会を開催し、三月に策定した平成十五年の木材需給見通しの見直しを行い、当初の見通し値を百八十三万六千m³引き上げた。

協同組合事業功績者 優良組合表彰
林野庁長官感謝状
 木場製材〓 村井龍一 原木〓 川崎喜一郎 山梨〓 小林忠次 長野 〓 小林政幸 岐阜〓 糸魚川行吉 静岡〓 松本健 大阪〓 梅原卓 兵庫 〓 三木英男 熊本〓 小里昭男 大分〓 石川一男 鹿児島〓 佐々木幸久
全木協連会長表彰
 青森〓 斎藤巖 宮城〓 小泉勝彌 秋田〓 小笠原俊郎、水澤博 茨城〓 内海道雄、秋田公一 栃木〓 坂本瞭、手塚寛 埼玉〓 馬場弘 金子尚市 千葉〓 小池正男 間屋 〓 天野文夫、向殿誠二 材商〓 成田敬明、今村充男、栗原章吉 新

これにより、平成十五年の需給見通しは、前年比一・一%増の八千九百六万六千m³となった。
 当初見通しよりは上向いて、ほぼ前年並みの見通しである。
 需要面では、住宅着工量が前年並みを維持するものと予想されることから、製材用とその他用では

東京〓 鳥井誠一 木場製材〓 細田安治、渡辺雄太郎 原木〓 氏橋武史 富山〓 山田幸志、金尾雅行 長野〓 唐木信一、飯島勇 岐阜〓 木村棟作、伊佐地正克 静岡〓 佐藤慎弘、高塚清行 愛知〓 長瀬一夫、愛知県集材工業協同組合 三重〓 余谷文義、川口勝男 京都 〓 京都木材協同組合 大阪〓 石橋浩志、牧野龍平 兵庫〓 佐用郡木材業協同組合、堀勇雄 奈良〓 榊田忠蔵、中川敏治 和歌山〓 橋爪勤、柳瀬孝史 岡山〓 松井比呂志、坂本昇司 広島〓 川ノ上澤門、佐藤重人 徳島〓 池田忠志 香川〓 松高照廣 福岡〓 江藤義行 熊本 〓 池部正信、合志洋一 大分〓 三浦喜久男、山本知義 宮崎〓 皆川雅之、川口和雄 沖縄〓 中尾英筈

見通し値を引き上げ、前年比増加となる。ただし、合板用については、輸入合板の増加が見込めないことから前年比減少。パルプ・チップ用については、ほぼ前年並みである。
 一方、供給面では、国産材は前年比若干の増加、輸入材は前年並みである。
 国産材は、前年比二・八%増の千六百五十三万m³。輸入材は、前年比〇・七%増の七千二百五十三万六千m³である。
 輸入材では、丸太、製材、その

他およびパルプが前年比増加となり、チップは前年並み、合板は前年比減少である。

木材(用材)の需給の実績と見通し(単位:千m³)

年次	需 要					
	総数	製材用	合板用	パルプ・チップ用	その他	
15年見直し	89,066 (101.1)	36,145 (103.7)	12,527 (94.7)	37,758 (100.4)	2,636 (108.2)	
供 給	国 産 材					
	総数	丸太	林地残材			
	89,066 (101.1)	16,530 (102.8)	16,435 (102.8)	95 (100.0)		
輸 入 材						
総数	丸太	製材	合板	チップ	パルプ	その他
72,536 (100.7)	15,291 (102.9)	14,378 (105.0)	7,410 (87.2)	24,865 (100.3)	8,295 (102.4)	2,297 (109.5)

景況調査 = 全木協

9月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕 モニター数131 回答数72 回収率55%

当月の状況			
販売量	増加49% (35)	変わらず40% (29)	減少11% (8)
仕入量	増加37% (27)	変わらず42% (30)	減少21% (15)
販売価格	上昇14% (10)	変わらず85% (61)	下降1% (1)
仕入価格	上昇31% (22)	変わらず69% (50)	下降0% (0)
来月の見通し			
販売量	増加21% (15)	変わらず70% (50)	減少9% (7)
仕入量	増加15% (11)	変わらず70% (50)	減少15% (11)
販売価格	上昇21% (15)	変わらず76% (55)	下降3% (2)
仕入価格	上昇29% (21)	変わらず70% (50)	下降1% (1)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	19% (12)	79% (47)	5% (3)
南洋材	5% (3)	88% (50)	7% (4)
北洋材	22% (13)	71% (41)	7% (4)
国産材	28% (18)	63% (40)	9% (6)
建材	20% (12)	70% (43)	10% (6)

乾燥材取引への関心度	高い	ほどほど	低い
	48% (32)	50% (33)	2% (1)

〔製造部門〕 モニター数114 回答数78 回収率68%

当月の状況			
販売量	増加46% (36)	変わらず46% (36)	減少8% (6)
仕入量	増加27% (21)	変わらず49% (38)	減少24% (19)
販売価格	上昇27% (21)	変わらず69% (54)	下降4% (3)
仕入価格	上昇45% (35)	変わらず50% (39)	下降5% (4)
来月の見通し			
販売量	増加35% (27)	変わらず60% (47)	減少5% (4)
仕入量	増加39% (30)	変わらず55% (43)	減少6% (5)
販売価格	上昇26% (20)	変わらず73% (57)	下降1% (1)
仕入価格	上昇33% (26)	変わらず61% (47)	下降6% (5)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	38% (15)	59% (23)	3% (1)
南洋材	16% (4)	80% (20)	4% (1)
北洋材	47% (18)	50% (19)	3% (1)
国産材	26% (16)	58% (35)	16% (10)

プレカットの動向		
受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月以上
	26% (6)	22% (5)



良材の立ち合いは盛況

優良国産材
製材品展示会
長野会場で開催

全木協連が主催する優良国産材製材品展示会が、長野県の本曾木材市売協同組合を会場に、九月十七日に実施された。記念式では、全木協連の角谷常務が挨拶し、買い上げ協力を訴えた。買方の参加は通常並みで、市況が上向きを見せた時期の開催であっただけに動向が注目されたが、寄り付きが鈍く、構造材は依然として不振であった。このため、売上総額、平均単価とも前年実績を下回った。良材の出品が減少してきていることが影響したもよう。

JAS認定工場
32工場追加

JAS制度における登録認定機関の全木連は、九月十日付けで、新たに三十二工場（Aタイプ一工場、Bタイプ三十一工場）をJAS認定した。これにより、総数は、Aタイプ

輸出梱包材処理
五工場を認証

全木連は、九月十日付けで、輸出梱包材処理工場を新たに五工場認証した。これにより、認証工場数は百四工場となった。

四十一工場、Bタイプ四百四十六工場となった。

林業・木材産業の発展のために

お役に立ちます

林業・木材産業信用保証

推進資金（利率1.5%）、改善資金（無利子）他
ご利用ください。

公的機関が保証します

農林漁業信用基金

後楽事務所（林業部門）

副理事長 加藤 鐵夫

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12（林友ビル5階）

TEL 03(3813)5371 FAX 03(3812)8842

ホームページアドレス <http://www.mmjp.or.jp/kikin>

メールアドレス kanrisitu@tokyo.email.ne.jp

